

優秀ポスター受賞者インタビュー 02



井口 明優

薬学系研究科
博士課程3年

◆研究内容について教えていただけますか？

認知症の原因の一つであるアルツハイマー病の研究をしています。近年、脳内の免疫担当細胞であるミクログリアが、アルツハイマー病の発症に関与することが示唆されており、中でもTREM2という膜タンパク質が重要な機能を果たすことが明らかとなりました。ミクログリアはこの分子を利用して機能を果たしていますが、その下流経路についてはあまりわかっていませんでした。そこで、自分の研究では、下流経路の一つを制御しているINPP5Dという分子に着目して、ミクログリア機能との関連について研究を行っています。

◆この研究分野に興味をもたれたきっかけなどありましたら教えてください。

特に大きなきっかけがあったわけではありませんが、神経がどのように思考を司っているのか、や神経変性疾患で神経が死んでしまうことで思考が変容してしまうのがどのような仕組みなのか、については昔から疑問だったため、現在の研究分野に興味を持ちました。

◆今回発表した内容はどれくらいの期間で行ったものですか？

今回の研究結果は、学部4年から博士1年の間に行った研究です。

◆研究を進めるにあたって、特に苦労した点を教えてください。

神経変性疾患のモデルマウスは、病理が出るまで半年～数年飼育し続ける必要があり、自分の研究に用いたマウスも9ヶ月齢の時点で実験を実施しました。そのため、十分な数のマウスを用意できるまで待つ必要があるのが一番大変でした。

◆ポスター作成、発表において工夫した点などありましたら教えてください。

研究を理解してもらうために必要な前提知識が多いので、導入の部分で、論理的に話を繋いで、できるだけ聞き手に研究背景をイメージしやすいようにすることは心掛けました。

◆研究を進めるにあたって気をつけていることを教えてください。

最新の論文や学会発表などを確認して、同じ研究分野の研究者がどのようなことを気にして研究しているかや、論文にする際に、どのようなことが求められているかなどを確認しながら、研究を行うようにしています。

◆今回ポスター発表をして、良かった点、改善してほしい点があれば教えてください。

普段は、研究背景が類似したような方とディスカッションを行うことが多いので、今回のポスター発表では異なるバックグラウンドをお持ちの方に向けて、できる限りわかりやすく自身の研究内容を伝えようとする過程で、表現や図などを見直すことができ、良かったです。

◆これから発表される方にアドバイスがあればよろしくお願ひします。

自分の研究は自分が一番よく知ってしまっているため、わかりづらい点や説明で不要な点に自分ではなかなか気づきにくいと思います。そのため、作成した資料を、ラボの方など多くの人に見てもらい、アドバイスをもらえると、よりよい出来の、わかりやすいポスターになると思います。

◆将来の夢（目標）を教えてください。

喫緊の目標は、今の研究をまとめた論文をパブリッシュすることです。